

主催：神戸大学計算社会科学研究センター
共催：神戸大学工学部（予定）／システム情報学部（予定）／医学部保健学科／経済学部
みらい開拓人材育成センター（予定）／RIEBセミナー

神戸大学公開シンポジウム

研究ってナニ？～私たちのリアルな挑戦～ 高校生と大学研究者の場合



「研究」と聞くとどのようなイメージを持っていますか？
楽しそう？難しそう？

本シンポジウムでは、第一部で、現役高校生および
神戸大学の若手教員3名がそれぞれ、自身の研究や研究に至
った経緯をお話しします。

第二部では、現役高校生による、ポスター発表を行います。
個別に、プロジェクトに取り組んだ経緯や内容について意見
交換をしてください。

最後に第三部では、パネルディスカッションを行い、現役
高校生・大学教員が、「研究ってナニ？」などのみなさんの
ギモンにお答えしたり、議論したりします。

夏休みに、研究の世界を覗いてみませんか？
研究の楽しさや身近さを、お伝えできたらと思います。

参加費
無料

参加登録締切
7/28

2025.8.2 (Sat.)

13:30-17:10【受付開始 13:00】

開催場所 神戸大学百年記念館（六甲台第2キャンパス）

聴講対象 中学生・高校生、保護者、学部生等

参加登録 右記QRコード、もしくはこちらから参加登録をしてください。

MAP

<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/campus-life/general/access/rokko/rokkodai2/>
※上記URL地図内、102番の建物です。URLをクリックしてください。



参加登録フォーム



CCSS
計算社会科学研究センター

PROGRAM

- 13:30 - 13:05 開会の挨拶
玉置 久（神戸大学理事・副学長 教育・グローバル担当）
- 13:35 - 13:45 趣旨説明
上東 貴志（神戸大学計算社会科学研究センター長）
- 13:50 - 14:30 高校生による研究報告
（7月初旬プログラム公開予定）
- 14:35 - 14:55 ウェアラブルコンピューティングの研究事例
～身近な困りごとや自分の特技を起点とした挑戦～
大西 鮎美（神戸大学大学院工学研究科）
- 14:55 - 15:15 計算社会科学によるユーザー行動の研究
～人の行動の隠れたメカニズム解き明かす挑戦～
松井 暉（神戸大学計算社会科学研究センター）
- 15:15 - 15:35 より患者に寄り添った看護を実現するための研究
～ナースコール対応など、看護現場における課題解決への挑戦～
福重 春菜（神戸大学大学院保健学研究科）
- 15:40 - 16:20 ポスターセッション（エントランスホールにて）

ポスターセッションとは？

研究やプロジェクトの内容を大きなポスターにまとめて、参加者に説明する発表です。参加者の皆様は、是非積極的にポスター発表者へお声がけください。意見交換をすることで、さらなるプロジェクトに発展するかも？



16:25 - 17:05 パネルディスカッション

モデレータ：上東 貴志

パネリスト：大西 鮎美／松井 暉／福重 春菜

高校生研究報告者

17:05 - 17:10 閉会の挨拶

登壇者紹介



上東 貴志

神戸大学計算社会科学研究センター長
日本学術会議会員。IEFS Japan 会長、
International Economic
Association (国際経済学連合) 理事、
学術雑誌 Journal of Computational
Social Science (Springer) 編集長、
International Journal of Economic
Theory (Wiley) 編集長を務める。



大西 鮎美

神戸大学大学院工学研究科 助教
博士（工学）。JST ACT-X で「疲労時
五感の定式化と疲労時能力を AI で補正
する五感拡張装置の開発」に採択。五
感拡張装置の開発やウェアラブルコン
ピューティング技術の研究に従事。MIT
Technology Review Innovators
Under 35 Japan 2022 に選出。



松井 暉

神戸大学計算社会科学研究センター
講師 博士（コンピューターサイエン
ス）。機械学習とビッグデータを組み
合わせたデジタルプラットフォーム上
の人間行動研究に従事し、Wikipedia、
浮世絵、金融政策など様々なトピック
で計算社会科学研究として行う。第3回
計算社会科学大会 大会優秀賞。



福重 春菜

神戸大学大学院保健学研究科 助教
博士（保健学）。JST ACT-X で「個人
特性を考慮したナースコール発生予測
モデルの作成」に採択。看護ビッグデ
ータの利活用により、看護師の繁忙さ
の改善、ならびにケアの質向上に取り
組む。R6 神戸大学優秀若手研究者賞
受賞。

高校生研究報告者および
ポスター発表者の採択結果
は7月初旬公開予定です